

2020年9月期 決算説明資料

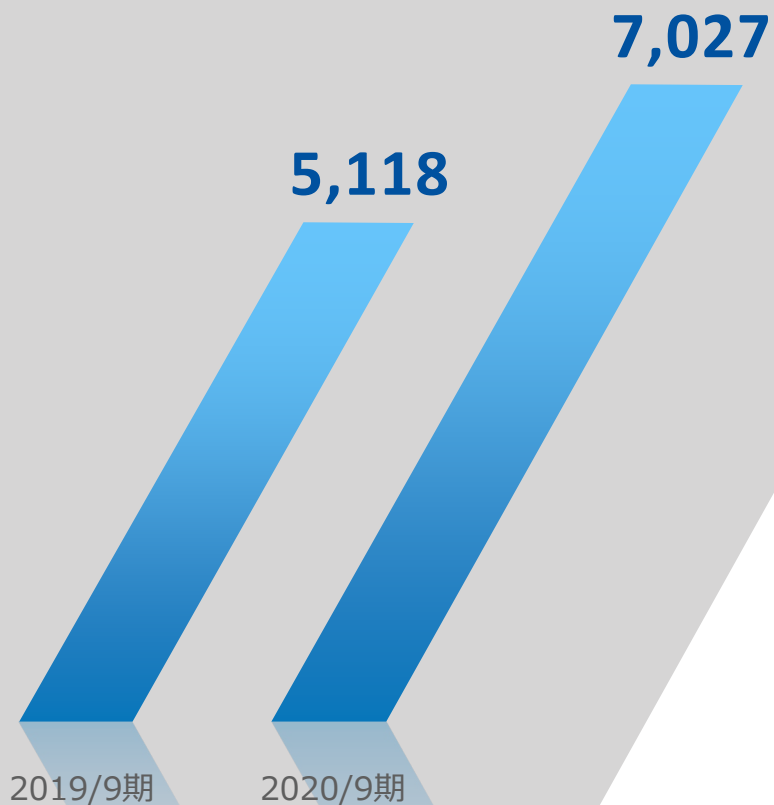
株式会社タスキ
(東証マザーズ：2987)

2020年11月26日

01	2020年9月期 決算概要		2
02	TOPICS		8
03	今後の方針		17
04	2021年9月期 業績予想		22

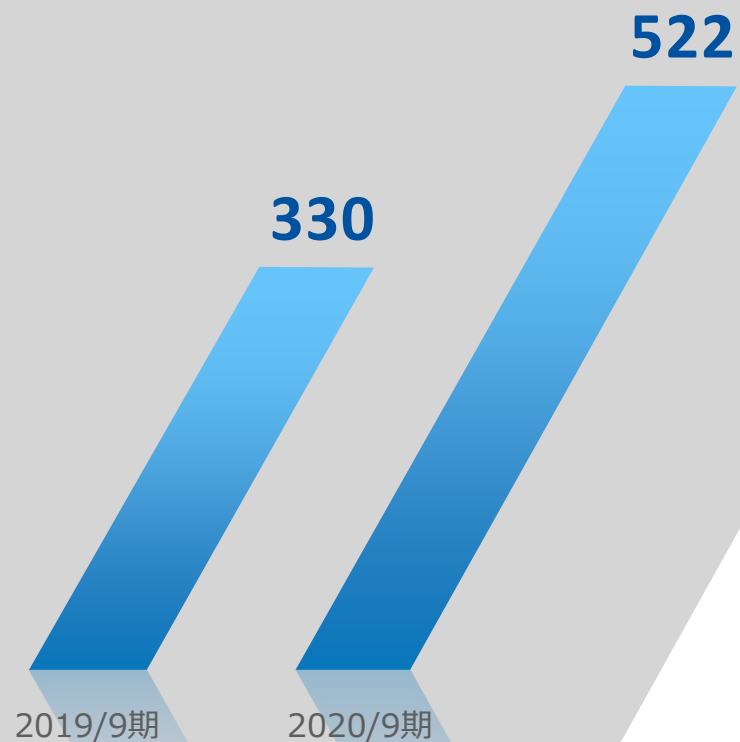
2020年9月期 決算概要

[百万円]



37.3%増

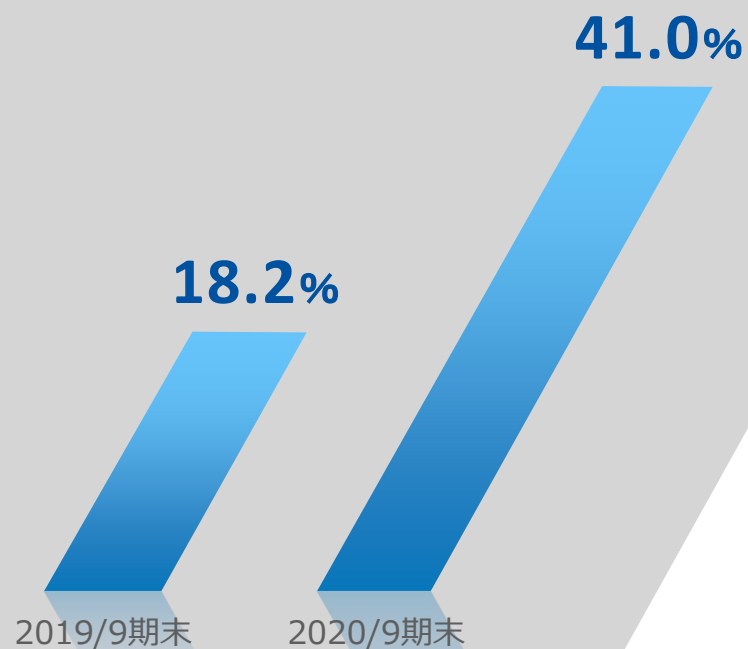
[百万円]



58.0%増

[百万円]

	FY2019.9	FY2020.9	増減額	増減率
売上高	5,118	7,027	+1,908	+37.3%
営業利益	424	579	+154	+36.3%
経常利益	330	522	+191	+58.0%
当期純利益	221	330	+108	+49.1%



22.8pt増

配当性向**35%**以上の
株主還元がタスキの使命です。

不動産テックを活用した新築投資用IoTレジデンス事業を中核に、サステイナブルな成長を実現させる事業開発を進め、ライフプラットフォームとして大きく発展することを目指します。

TASUKI
Life Platformer

2020年9月期は、一株当たり配当金を年間 **26** 円_[予定]

TOPICS

1

DX（デジタルトランスフォーメーション）戦略研究室を設置

2

不動産価値流通プラットフォーム「タスキTECH」の開発加速

3

タスキ×電気通信大学×感性AIの産学連携で
最先端テクノロジー活用による不動産価値流通の共同研究スタート

4

新規事業（不動産投資型クラウドファンディング）のサービス開始

DX

2018～： 8月) 新しい業務Styleへの取り組み

社内PCのモバイル化・スマホ化移行完了



10月) 社内コミュニケーションツールのデジタル化

2019～： 11月) テレビ会議での商談実施



2020～： 1月) 不動産特定共同事業の電子取引業務の許可取得

5月) リモートワーク（在宅勤務）の環境構築

9月) IT重説社会実験に参画

11月) DX戦略研究室の設置

不動産価値流通プラットフォーム「タスキTECH」
の開発加速



私たちタスキは、

「タスキで世界をつなぐ～革新的なイノベーションで社会のハブになる～」を企業理念とし、不動産テックを活用した新築投資用IoTレジデンス事業を中核に成長してきました。

この度の上場を契機に新たな飛躍と進化を目指し、

2020年11月1日、**DX戦略研究室**を設立いたしました。

TASUKI DX

タスキは、Digital Transformationで
不動産業界のかかえる課題をともに解決します。

地図にふれる。
不動産の価値が瞬時に見える。

TASUKI
TECH





×



国立大学法人
電気通信大学

×



最先端テクノロジー活用による不動産価値流通の研究

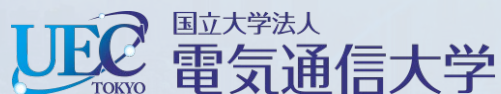
AIを活用した不動産価値流通の可視化



スマートシティにおけるVR活用



坂本真樹 (電気通信大学副学長・電気通信大学大学院教授)



感性AI株式会社

(京王グループ)

KanseiAI!

感性AIの第一人者

- ✓ 電気通信大学 副学長
- ✓ 電気通信大学大学院 情報理工学研究科 教授
- ✓ 電気通信大学大学院 人工知能先端研究センター副センター長
- ✓ 日本学術会議連携会員 (総合工学・情報学)
- ✓ 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート エグゼクティブアドバイザー
- ✓ 感性AI株式会社取締役COO

感性とAIの融合で
HAPPINESSを実感できる社会に

人のうちに秘めた感覚を理解し、
表現をサポートしてくれるAIを創ることによって、
感性活用のプラットフォーム

SMART VR



感性AI × VR動画

電気通信大学の坂本真樹教授の専門分野である「ヒトの感性を活かしたAI」と共同開発を行い、違和感なく、人が気持ちよく見られるVR動画の開発を加速します。



投資家会員が少額からポートフォリオの構築ができる
資産運用プラットフォームをスマホで提供。
投資へのハードルを下げ、当社顧客の拡大を図る。



第一号認可保育園
キッズガーデン滝野川

POINT

- 1 1口10万円からの投資
- 2 申込/解約手数料が無料
- 3 運用利回り 年4%~10%

クラウドファンディング
による投資

分散投資を可能とする
投資対象の多様化

配当



小口から参画可能なクラウドファンディングを通じて、IoTレジデンスの
潜在顧客を囲い込み。

今後の方針

IoTレジデンス

↓	マイナス影響	対面での営業活動 物件の現地確認	減少 制限
→	影響軽微	金融機関の融資姿勢	安定
↑	副次的な 需要の増加	資金化による駅近仕入物件情報 相続対策ニーズ	増加 増加
影響		影響は軽微で 良好な事業環境が継続	

アフターコロナ
業界の変革

オンラインで「正確な情報を取得できるプラットフォーム」と
「取引デジタル化」の必然性の高まり

1 不動産価値流通のデジタル化を推進するサービスの**開発加速**

2 不動産クラウドファンディングプラットフォームの**外販展開**

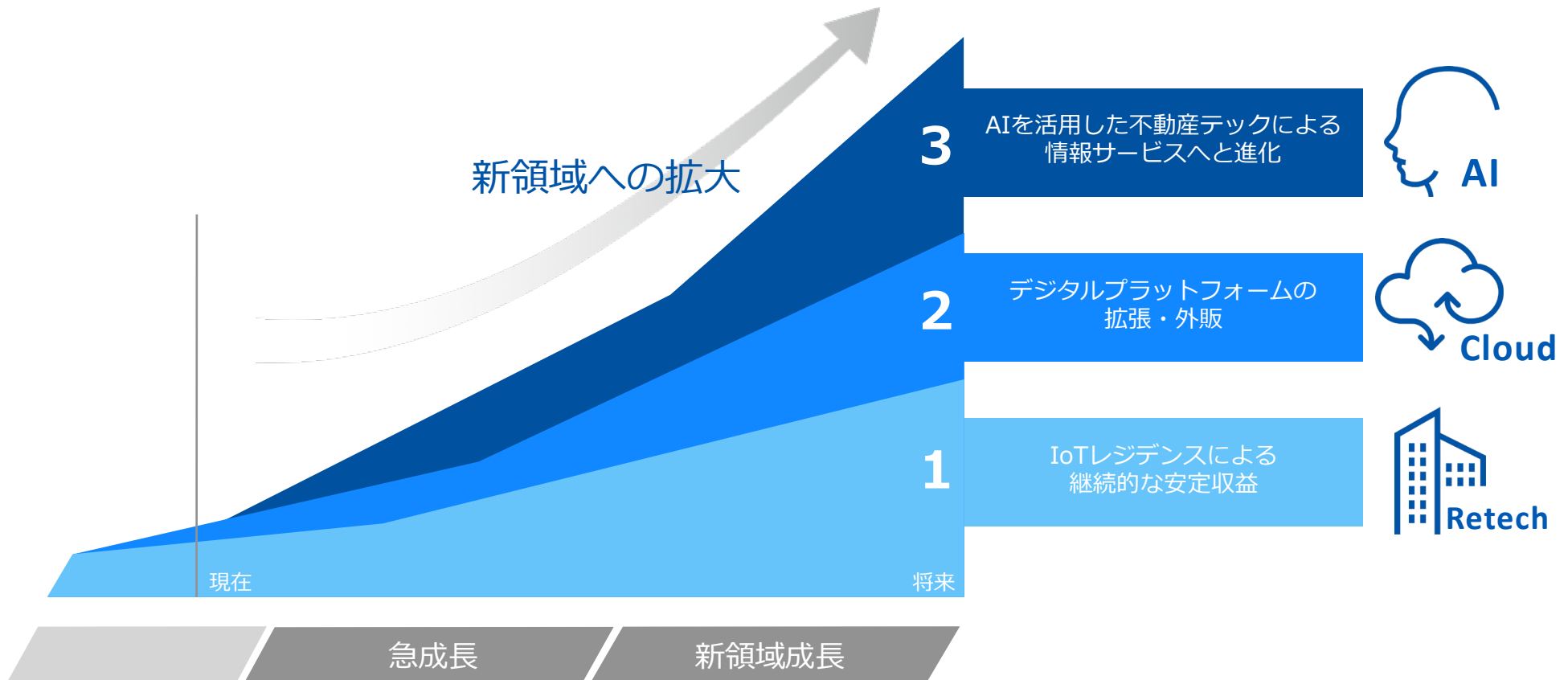
3 IoTレジデンスの**シェア拡大**と**テクノロジーのアップデート**に注力

当社は、“ライフプラットフォーム”としてAI活用によるデジタル化を推進し、不動産業界に革命を起こす不動産価値流通プラットフォームを創出する

不動産テック領域に経営資源を集中する意義

再現性	短い時間軸での即効性	親和性	採用/ 資金調達力
企画開発事業で培ったノウハウを活用し事業立ち上げ	経験を礎とした早い意思決定と事業遂行体制	情報の集約・蓄積によるデジタル技術活用の最大化	全社一丸で行うことで競争力を確保

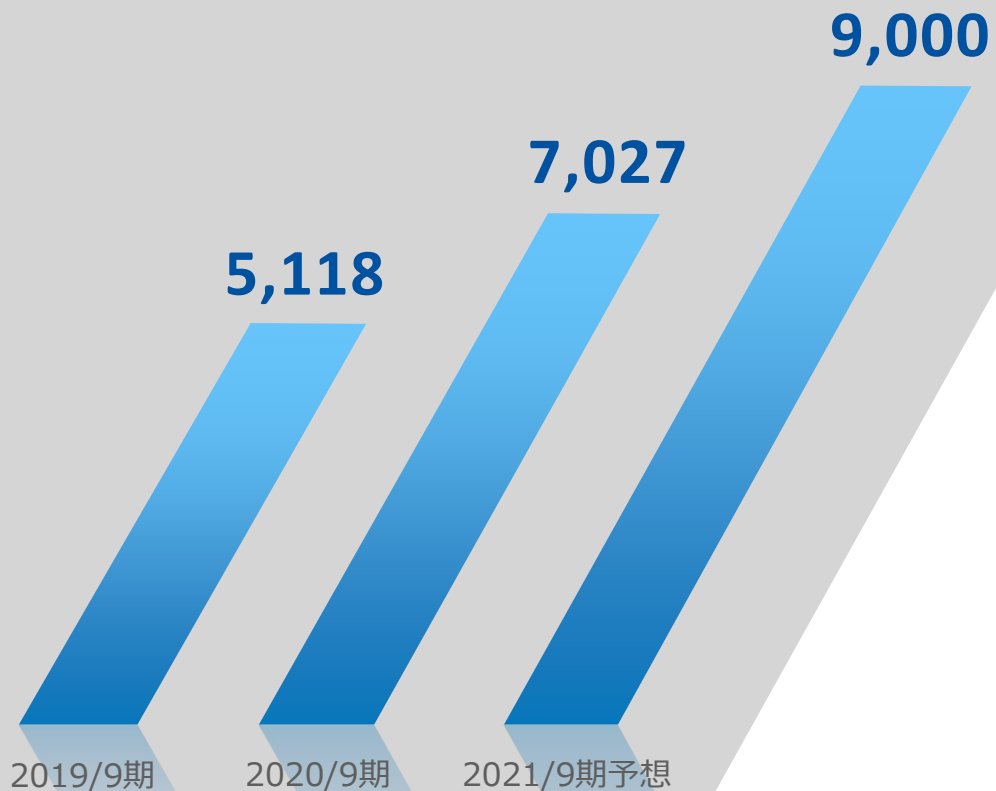
最先端テクノロジーの活用を強みとするライフプラットフォームとして、業界に革命を起こすマーケットインなサービスを創造し、持続的な高成長を目指す。



先進技術の研究を事業につなげ、隣接領域への事業拡大

2021年9月期 業績予想

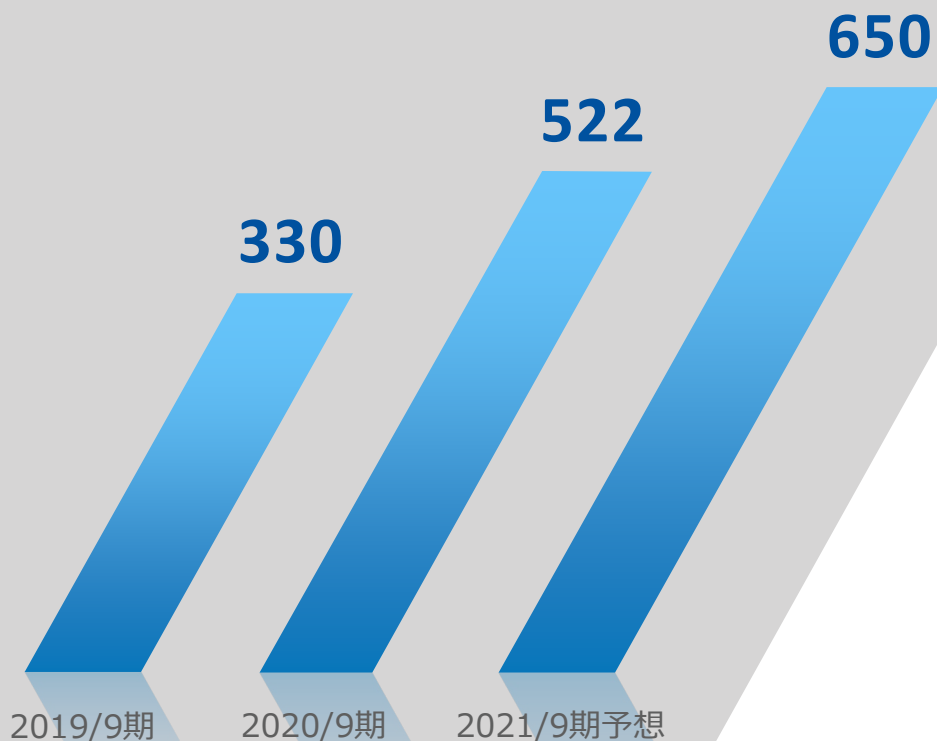
[百万円]



2021年9月期予想

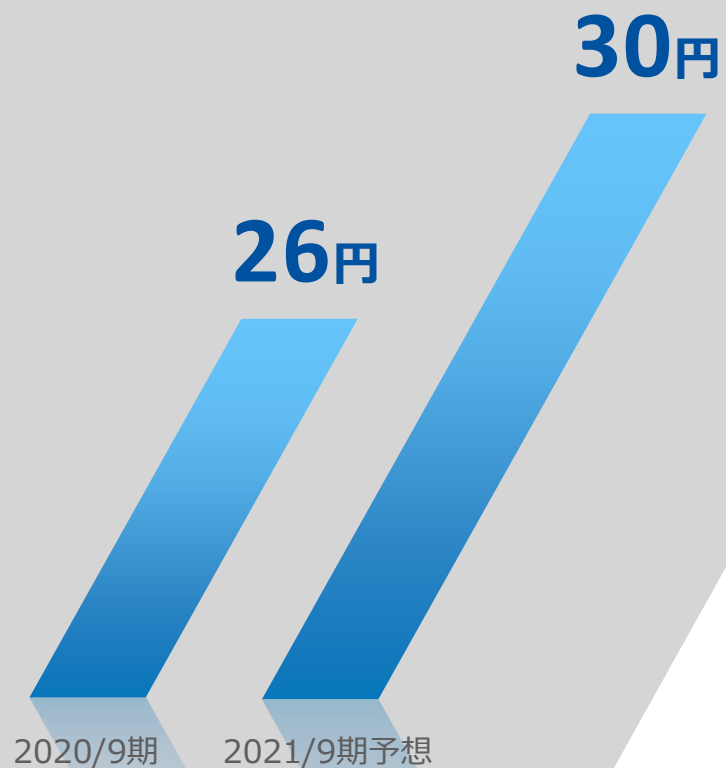
90億円
+28%

[百万円]



2021年9月期予想

6.5億円
+25%



2021年9月期予想
増配継続

新型コロナウイルスの影響下でも

5期連続
増収増益

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

お問い合わせ先

経営管理部 IR担当

MAIL : ir@tasukicorp.co.jp

IR情報 : <https://tasukicorp.co.jp/ir/>